

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2024～2025年度 No.307

7 月報

那須クラブ会長 主題

ユースと共に那須YMCAの活動を探る



強調月間：キックオフ
PR

今月の聖句 詩編98：1

新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。右の御手、聖なる御腕によって、主は救いの御業を果たされた。

7月第1例会（総会・会長交代式・入会式）

日時：7月19日（土）午前11時30分～

場所：中華料理 龍鳳園 那須塩原市西大和1-7

電話 0287-36-1202

内容：新年度を迎えるにあたり、前年度の1年の活動を評価・総括し、2025～2026年度計画を話し合うと共に、会長交代式と入会式を行い、担当主事の異動による歓送迎会を行う。

司会 書記 藤生 強

開会点鐘・挨拶

会長 田村 修也

ワイズソング斉唱

ワイズの信条の斉唱

ゲスト・ビジター紹介

会長

聖書朗読・祈祷

司会者

会食

総会・協議事項

報告・承認

2023～2024年度事業・会計報告

計画予算・承認

2024～2025年度事業計画・会計予算

会長交代式

立会人 原田 明子

新入会員入会式

立会人 田村 修也

報告事項 YMCA・ワイズ

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘

会長 村田 榮

会費 メン・メネット 3,000円

申込は村田まで。 〆切日 7月15日（火）

2025～2026年度 主題

国際会長：(IP) エドワード・オン (シンガポール)

『信念、愛、行動』

アジア太平洋地域会長：(AP) 田上 正 (熊本むさしクラブ)

『信念と愛を持って行動しよう!』

東日本区理事(RD)： 山下 真 (十勝クラブ)

『ワイズのらしさ再発見』

北東部長： 三田 庸平 (もりおかクラブ)

「ユースと共に明るい未来を」

クラブ役員

会長：村田 榮

副会長：田村 修也

書記：藤生 強

会計：鈴木 保江・村田 榮

担当主事：武田 将吾

ブリテン：田村 修也・村田 榮

6月例会データー（出席率：100%）

メンバー5名、メネット2名、ユースリーダー 7名

ゲスト4名、（広義会員1名）

メイキャップ1名

7月 Happy Birthday

7/8 村田 紀美子メネット

7/11 鈴木 保江メン

8月例会（納涼例会）

日時：8月23日（土）午前11時30分～

場所：原田 明子メン宅

北東部評議会

日時：7月26日（土）午後2時～

場所：アイーナ・いわて県民情報交流センター

アジア太平洋地域大会

日時：8月1日（金）～8月3日（日）

場所：熊本

ユースと共に那須YMCAの活動を探る

那須ワイズメンズクラブは1995年9月に設立され、今年で30年になります。設立当時のメンバー数は、30人を超えていたと聞いております。しかし、現在は7名のメンバーで活動を行っています。そう1名は、広義会員です。那須ワイズメンズクラブの活動は、メネットの協力ですべての活動が成り立っております。

わたしが那須ワイズメンズクラブに参加したのは、2012年1月に那須ワイズの例会（新年例会）に参加したのが、田村メン・メネットや鈴木メン・コメットとお会いしたのがはじまりです。2012年4月に姫路ワイズメンズクラブから転会して那須ワイズメンズクラブの活動にメンバーとして参加いたしました。その当時の活動は、黒磯ガールスカウト・西那須野教会・大田原カトリック教会等の方々の協力のもとに年2回の植樹例会、アジア学院収穫感謝祭への参加、ユースリーダーを招いてのクリスマス例会、CS公開講演会、その他親睦例会が開催されていまして。その流れは変わらずに、年1回になった植樹例会、クリスマス例会はユースリーダーと養徳園の園児を招いて開催され、アジア学院、那須御園老人ホーム、養徳園、ユースリーダー活動の支援のためにクリスマス献金（奉仕する団体は増えました）をしております。又、できるだけユースリーダーとの交流の機会を持つようにして、2024年—2025年度まで進められてきました。その間、河野メンと田村メンのお二人にこの10年以上は会長をお願いしてきました。

2025年—2026年度は、田村さんの体調を考慮して村田が会長をさせていただくことになりました。よろしくお願いします。今年度のモットーは、「ユースと共に那須YMCAの活動を探る」といたしました。那須YMCAの活動が小休止しています。那須YMCAの活動が始まるのが、那須ワイズメンズクラブの活性化に役立つと信じます。ユースとともに活動が再開するようにしたいと願っております。那須ワイズメンズクラブは、この30年間づーとユースリーダーとともに活動を続けてきました。今の那須ワイズメンズクラブには、ユースリーダーの協力とメネットの力がなくては活動が成り立ちません。これから数年かけてメンバー増強に取り組みたいと思っております。それとシイタケ昆布の販売が大きな資金源となっております。皆様のご協力があつて初めてワイズの活性化に繋がります。よろしくお願いします。

この1年間の活動内容の計画と会計に関しては、7ページに掲載します。ご覧ください。



6月例会（ユースリーダーとの交流会）於：日本キリスト教団西那須野教会 2025.6.19

6月例会(ユースリーダーとの懇談会)報告

日時：2026年6月19日(木)午後7時

場所：日本キリスト教団 西那須野教会

出席者：田村、村田、原田、藤生、武田の各メン、田村、村田の各メネット、ユースリーダー7名、ゲスト5名：計19名



「ユースリーダーとの懇談会」をテーマに、那須YMCAユースボランティアリーダー7名をゲスト

に迎え、「那須YMCAやユースリーダーの活動へ、ワイズとしてどのようなサポートが出来るかを考える」機会としました。



会場にお借りした日本基督教団西那須野教会の皆さんが作った食事を頂いた後、1時間ほどの短い時間ではあり

ましたが、リーダーとワイズ他(メン、メネット、教会員などのゲスト)が1対1で話し合いをしました。那須YMCAユースリーダー会を担当する武田とちぎYスタッフ(那須ワイズ担当主事)から「地域への支援として何が出来るか」などテーマを伝えられ話し合いを始めました。大勢での話し合いとは違い、1対1なので自分の思いをたくさん話すことが出来ました。リーダーたちは自分の思いを言葉に(言語化)することによって、そして相手の意見を聞くことによって、モヤッとした思いをしっかりとした意見に進化(成長)させている様でした。

懇談の最後にそれぞれ話し合った内容を伝えてもらいました。「(宇都宮YMCAの活動ではなく)那須YMCAオリジナルの野外活動」「世代間(子ども、青少年、高齢者)の交流活動」「参加費が安く、経済的に負担が少ない活動」「地域の小学校などとの共同活動」「アジア学院との交流」「(子ども食堂のような)高齢者食堂の活動」など意見が出されました。

今後は出された意見も含めて、リーダー達と何回か話し合いを行い、具体的な活動の企画と実施に繋がっていければ、と感じました。まずはユースリーダーとの「はじめの一歩」です。

第2例会(役員会)報告

日時：6月19日(木)午後6時から

7月10日(木)午後4時30分～

場所：田村会長宅、

出席者：田村、村田、武田各メン、田村、村田メネ

ット

1. 7月例会について

7月19日(土)のお昼に行く。場所は、中華料理龍鳳園。

会場の予約は、田村メネットの依頼。会費は3,000円。リーダーにも参加を呼び掛ける。会長交代式と入会式を行う。

2. 張メンは、広義会員としての申請は、許可された。

3. 8月例会について

8月23日(土)に行く。河野さんの受賞のお祝いを兼ねる。記念品は、原田メンに一任。リーダーの参加も歓迎。

4. シイタケ昆布の販売について

皆さんの希望数を聞いて注文を行う。7月19日の例会時に配布できるようにする。

5. 9月例会について

9月27日(土)に行く。場所は、hikari no cafe 蜂須。昼食をとり、その後エルム福祉会のお話を聞く。会場の予約等は、田村副会長に依頼。

第28回東日本区大会に参加

第28回東日本区大会がライトキューブ宇都宮で開催された。わがクラブで販売しているシイタケ昆布の販売を兼ねて、田村会長、原田メン、田村メネ



ット、村田メネットと村田の5名で参加した。会場は、JR駅と直結しているので便利であったが、我々は車での参加で駐車

場がわからず戸惑った。

大会の進みは、いままでと同じ流れで行われた。シイタケ昆布の販売を行ったために、ゆっくりと大



会に参加することができずにいました。立川晴の輔師匠の記念落語会と晩さん会は、全員そろって参加をした。

次の日のエクスカーシヨンの参加はなく、晚餐

会の後、帰路に就いた。

とちぎYMCAチャリティーランに参加

鈴木 保江

暑かったね、チャリティーラン

今年もチャリティーランに行ってきました。なんともいえない暑いなか準備、参加者、ボランティアな

ど多くの方が参加してくださいましたね。私はずっとテント下でシイタケ昆布の販売をしていただけでした。参加者は元気で暑さもなんのその、熱射病も心配されましたが、最後まで頑張っていました。それだけでも、すごいパワーを感じます。



チャリティーランに行く私の楽しみは、今まで出会った方々に会える楽しみ

と近況を聞いて元気をもらってことです。ワイズメンズだけでなくYMCAのスタッフやOBOG、毎年出店して下さる掘り出し物と出会えることも楽しみの一つです。出かけなければ出会えなかったそんなひと時もいいですね。YMCAにかかわらなければこんな些細な経験もなかったと思います。ありがとうございます。

時折、気持ちいい風がテントの中を通りぬける心地よさを感じなら、のんびりした1日をすごせました。参加者の皆様大変お疲れ様でした。また、皆様にお会いできることを楽しみにしています。

開拓と信仰の姿「開拓と西那須野教会」-(9)

会長 田村 修也

最初に建てた家は床面積十五坪でしたが、開拓者たちは那須野が原にもこんな立派な家が建つようになったと喜んだそうです。井戸につきましては、京子さんが母美津の思い出として、「お母様が那須野へ来られたのは、明治31年ですが、まだ井戸がなく、疏水の水で用を足していました。当時の疏水は飲料水として住民も汚さないよう大切にしていたそうです。お母様はなかなか井戸が出来ないので、ある年、所用で旅行中のお父様に手紙でここに井戸をほりますと設計図を送り、人を頼んでほった所、大変水脈のよい所をほり当て、水の出が豊富で、よその井戸が涸れても家の井戸は涸れませんでした。16mも深い井戸はつるべ井戸で、私が初めて手繰ったときには、手繰っても手繰っても水桶が見えてこないの、汲み方が違うのではないかと思った程でした。」と語っております。

明治24年(1891)37歳の春、桑を植えてつて養蚕の準備をしました。7月には島村に残してきた家族を迎えて、一家団欒のうちに開拓に立ち向かうことが出来るようになりました。後年の記録には、「彼等は信仰を心の拠り所として、日夜営々として開墾農耕に励んだ。月明かりの夜は、夜も鋤を手

放すことを惜しんだという。当時、株主自ら開拓の鋤を振るったのは弥三郎一人であったので、一般移住民からは注目されていたらしい。」と記されており、弥三郎さんの年譜には「以来、聖書を片手に、信仰に励みながら、鋭意開拓につとめる。」とあります。

風呂、洗濯は那須疏水の分流である西堀が、屋敷の西方約200mのところを流れていてこれを利用することが出来ましたが、西堀の分流を屋敷に引いて利用することが出来ました。飲み水用として井戸も作られましたが、10m以上もある深いつるべ井戸だったので、井戸さらいは大変だったそうです。しかし井戸のおかげで、赤痢などにかかったという話は聞いておりません。

董おじいさんから聞いた話ですが、那須野が原の名物といえば、冬から春先にかけての空っ風でした。私も小学校低学年の頃は、三島小学校への通学道路の周りはみんな畑だったので、春先風が吹くと、土ぼこりが竜巻のように空全体を覆ってしまい、恐ろしいようだったことを覚えています。開田が進むに連れて、そんな光景も見られなくなってしまいました。

それと、物騒な雷とヌカミだったそうです。小砂利と火山灰土の関東ローム層の地層だったから、霜解けと砂ぼこりは相当ひどかったようです。写真に田上吉也さんの絵にありますが、当時の那須野が原はまったくの荒れ果てた土地でしたから、ひとたび空っ風が吹き荒れると、ほこりが舞い上がり、一晚のうちに、家の裏には砂塵の土手が出来る程だったそうです。豚小屋は豚ごと吹き飛ばされ、洗濯物などは取り忘れると、遮る物のない野原を、一里半も離れた隣町の大田原まで飛ばされる始末だったそうです。野狐などは大正時代になっても屋敷の近くで見られることもあったし、風の音に混じって狐の声が聞こえて来ることも度々あり、イタチの類も家の周りに頻繁に出没したそうです。

ご家族の話では、弥三郎さんは、一口で言えば、純真な情熱家で、好奇心が旺盛。そして無類の実行力に富んだ人であったとそうです。家業の主力は養蚕と稲作でしたが、ここに至るまでには、かなりの試行錯誤を重ねたそうです。(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

認定こども園 西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光夫

「泣く者と共に泣きなさい」

(聖書 ローマの信徒への手紙 12:15)

先週、日本キリスト教団全国教会幼稚園連絡会の研修に、学園役員でもある小林克良先生と共に参加させていただきました。今回の研修では、ずっと気がかりだった能登半島地震の被災地にある教会幼稚園を訪問する機会が与えられ、深い学びと気づきを得ることができました。

駅から会場に向かう道中、表面上は舗装されていますものの、道路の波打つ感触や、車窓から見える傾いた建物の数々に、復旧の道のりの厳しさを肌で感じました。能登の地で暮らす方々が日々どれほどの不安と困難の中で過ごされているかを思いますと、胸が詰まる思いでした。

最初に訪問した羽咋市は、有機農産物の学校給食でも知られる市です。羽咋白百合幼稚園は、奇しくも子ども達と教職員の支援金を送った先でもありました。園長先生からは、全国から「金品だけでなく、いただいた手紙がとても励みになりました」とのお言葉を頂き、遠くからでも思いを寄せ続け、祈ることの大切さを実感しました。

園舎の復旧を優先し、今までできなかった地盤沈下した園庭の整備を終え、これから外構工事に入る段階でした。福島原発事故後、本園でも放射能汚染による土の入れ替えが済むまでの3ヶ月間、室内での保育を余儀なくされた経験がありました。羽咋白百合幼稚園では、1年半も園庭が使えなかったと聞き、子ども達だけでなく、先生方のご苦勞に改めて頭の下がる思いでした。

羽咋白百合幼稚園は、地震の影響でトラブルが起きた志賀原発から南に24 km の位置にあります。市から配布されたヨウ素剤を見せていただきましたが、幼児用は丸薬の半分であり、「この形では割りにくい」と先生が話されていたのが印象的でした。こうした細やかな課題にも、日々向き合っておられることを痛感しました。子ども達は、地震直後しばらくの間、余震や1階天井から聞こえる2階の子ども達が走り回る音に敏感に反応し、泣き出してしまうことも多かったそうです。その後は「地震ごっこ」といった遊びもあったそうです。今では少しずつ落ち着きを取り戻していると伺い、少しほっとしました。とは言うものの園庭や外構が被害を受けたままであることは不安があると思います。心の奥に残る不安が少しでも癒やされますよう、私たち大人がしっかり支えていかなければと感じました。

次の訪問先、七尾幼稚園の園長先生からは、建物が被災しながらも教会堂と園舎を避難所として開放した体験を伺いました。そのなかで、「一番心配だったのは、西に25 kmにある志賀原発の状況でした」とのお話がありました。今回の震災を通じて、園としての備えについて、①建物の耐震性、②液状

化への対策、③正確な情報の確保がいかに重要かを再認識されたそうです。しかしながら、「今回のように地盤の隆起という人の手では防ぎきれない自然の力には、無力さを感じた」ともお話しくださしました。

そして、「住民の転出は10%位と報道されていますが、それは住民票による数字で、実際は罹災証明等の関係で住民票を残したまま転出をしている住民が多く、合わせて30%位転出している感覚です。街が壊れていっています」という言葉に、厳しい現実を感じました。

今回の研修では、輪島市や珠洲市など、さらに被害の大きかった奥能登の地域までは足を運ぶことが叶いませんでしたが、更に困難な状況にあると推測します。地震から1年半経った現地を訪問させていただき、関係者の方々のお話をとおして、未だ困難な現状からの復興は、個人や園の努力だけでは到底なしえないことを実感しました。さらなる県・国からの復興支援を速やかに実施されることを切望します。私達も、被災地で暮らす人達に思いを寄せ、支援と祈ることの大切さを深く感じました。

聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ

那須聖園老人ホーム

施設長 薄井 高宏

梅雨らしくない非常に暑い日々に体調を心配する今日この頃、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

この原稿を書いている現在は、毎日の最高気温が30度を超えるのが当たり前で、梅雨らしい天気はなく、真夏の猛暑が5月より続いている印象です。入所者の体調はもとより、職員の体調も心配です。労働安全衛生規則の改正により6月から企業も熱中症対策をとらなければならなくなりました。私が小学生の頃の40年前は、25度となると真夏日で、エアコンはもとより、扇風機も家に2台ほどしかありませんでした。家や周辺には、誰かしかが作業しており、近所の人くらいしか車も通りませんでしたから、窓もドアも開けたままでした。今はどんな田舎でも物騒で、窓はもちろんのこと、ドアも鍵をかけ車にも警戒が必要な世の中になってしまいましたので暑さは尚の事です。地球の気温が上がっているのか台風も頻繁で、記録的短時間大雨も各地で多発しています。これまで東北では、生きていけないとされていた動植物も生育範囲を北上、拡大しており、暑さの影響とはこれ程まで私たちの生活に変化を強いるとは、思ってもみませんでした。目まぐるしく

変わる世の中ですが、私達も変化に順応しなければ
ならないのかもしれません。

新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を
開始したいと思います。この制度は、生活にお困り
の方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措
置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町
の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約
で入所できるサービスです。契約にもいくつかの条
件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、
ご興味のある方は、下記連絡先までお問い合わせく
ださい。

また、新築にあたり、ご寄付も募っておりますの
で併せてご連絡ください。

タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活
する中で、様々な場面で使い切りの布（タオル）を
使用しています。つきましては、皆様には、タオル
の寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、
タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等
問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。
- ・その他お問合せは、 電話番号 0287-72
-0809 までお願い致します。

YMCAだより

【第20回 とちぎYMCAインターナショナル・チ ャリティーラン2025】

6月29日（日）にろまんちっく村で今年で20回
目となるチャリティーランが開催されました。今年
は天気にも恵まれ、計16名のリーダーがそれぞれ
代走ボランティアやコース誘導、準備、片付け等
を行いました。今回も多くの方に参加していただき、
幅広い年代の方々や障がいをもつの方々、支援を必要
とする方々が笑顔でYMCAに集い、交流する様子をた
くさん見ることができました。ユースリーダーの活
躍と若さが詰まったイベントとなりました。



【とちぎYMCA・那須YMCAの7月の予定】

- ・7/5（土）とちぎY野外クラブ（小学生）7月活
動 〈川あそび〉
- ・7/5（土）I C E P（国際）ウェルカムパーティ
ー
- ・7/6（日）とちぎYMCAリーダートレーニング
（野外炊飯）
- ・7/13（日）Yキッズ7月活動〈川あそび〉
- ・7/22（火）サマープログラム開始
- ・7/23（水）-24（木）I C E P国際交流キャン
プ

ユースリーダーのつぶやき

- ①本名（リーダー名）②学校名 学部なども
- ③出身地④YMCAに入ったきっかけ⑤思い出に残
った活動とその理由は？⑥今後の進路は？
- ⑦YMCAに一言



- ①押手愛莉（あり）
- ②国際医療福祉大学 保健
医療学部 看護学科
- ③茨城県下妻市
- ④子どもが好きであること
と、多くの人と関わりコミ
ュニケーション力を伸ばし
たいと思ったからです。

⑤ふくしま湖畔キャンプ

子どももリーダーも一体となり、互いの良さをみつ
けることができ、かけがえのない時間を過ごせたか
らです。

⑥患者さんを笑顔にできる看護師になりたいです。

⑦ワイズ例会では、これからもっと地域を盛り上げ
ていくために充実した話し合いを行うことができま
した。アジア学院や国際医療福祉大学などさまざま
な団体と協力し、多くの人が楽しめる活動を実現さ
せていきたいと思いました。

2025～2026年度 那須ワイズメンズクラブ年間計画

主題 ユースと共に那須YMCAの活動を探る

月	第二例会 第一例会	第二例会内容 第一例会内容	巻頭言 原稿依頼	北東部 とちぎYMCA	東日本区 月間テーマ
7	6/19(木) 7/19(土)	年間計画(案)検討 年間計画・会長交代式・入会式	村田	評議会7/26	年間テーマ 半年報提出 キックオフ・PR
8	7/10(木) 8/23(土)	9月10月例会 納涼例会・河野さんのお祝い会	田村		アジア太平洋地域大会(熊本)8/1～8/3 前期会費納入 戦略2032
9	8/21(土) 9/27(土)	10月11月例会・アジア学院収穫感謝祭の準備 蜂須カフェ エルムの働きに学ぶ	藤生	部大会 那須ワイズ(1995)	YVLF(富士山YMCA) 9/5～9/7 EMC
10	9/25(木) 10/18(土・日)	11月12月例会・クリスマス例会 アジア学院収穫感謝祭	原田		YMCA記念日 10/11 ASF
11	10/17(金)	感謝祭の準備 ユースリーダーとの交流会	鈴木	鈴木	ワイズデー 11/10 BF/GO/STEP
12	11/21(木) 12/20(土)	クリスマス例会	武田	バザー 11/3	祈りの輪 キリスト理解・IBC
1	12/20(土)	新年例会	村田		半年報提出 EF・JEF
2	1/16(木) 2/19(木)	ユースリーダー報告会・卒業リーダー感謝	田村		各種献金納期 TOP・FF・HTW
3	2/19(木)		藤生		次期会長・部役員研修会 CS・GreenP・ワイズメネット
4	3/19(木)	公開講演会	原田	とちぎY設立(1978)	Week4Waste・RBM
5	4/16(木) 5/9(土)	植樹例会	鈴木		LT・ユース
6	5/14(木)	リーダーとの交流会	武田	チャリティラン・那須 プランチ設立 (1997)	第29回東日本区大会(石巻) 6/6 YMCAサポート・評価・次年度計画

東日本区理事主題
ワイズのらしさを再発見
スローガン
Change!

北東部長主題
ユースと共に明るい未来を

那須クラブ標語
ユースと共に那須YMCAの活動を探る

那須クラブ活動
①那須Yとの連携促進
②ゲストとの交流を大切に
③地域団体との交流
・アジア学院・ガールスカウト
・西那須野幼稚園・エルム福祉会
・聖園那須老人ホーム・養徳園等
④プリテン活用
⑤雑草昆布の取り扱い
⑥他クラブとの交流
①～⑥を通してユースの活動を支え、地域のニーズに応え、仲間を広めよう

クラブ役員				
会長	村田 榮	プリテン	田村 修也・村田 榮	
副会長	田村 修也	地域奉仕	原田 明子	
書記	藤生 強	会員増強	鈴木 保江	
会計	鈴木 保江	ユース	武田 将吾	
会計補佐	村田 榮	国際事業	藤生 強	
担当主査	武田 将吾			

* 小さなことですが今年度は、ベルマークや切手、アルミ缶などメンバーで集めて、それぞれの施設に寄与していきたいと協力お願いしま

2024～2025年度 那須ワイズメンズクラブ会計報告

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
前年度繰越	19,825	19,825	東日本区会費	110,000	100,000
年会費	310,000	260,000	北東部会費	31,500	31,500
例会費	50,000	89,000	とちぎYMCA会費	35,000	30,000
献金	0	2,000	例会費	60,000	181,756
特別会計より繰入	40,000	200,000	保険代	1,215	1,215
オークション売上	5,000	0	会場費	10,000	8,000
雑収入	500	10,050	お祝金	10,000	0
定額預金利息		452	講師謝礼等	30,000	59,000
			リーダー研修・ユース事業	30,000	40,092
			献金等	60,000	70,000
			事務・送料等	3,000	3,846
			YMCAサービス	20,000	20,000
			雑費	14,610	10,000
			交通費補助	10,000	0
合 計	425,325	581,327	合 計	425,325	555,409

次年度繰越金 25,918 円

2024～2025年度 那須ワイズメンズクラブ特別会計報告

収入の部			支出の部		
項目	適用	決算	項目	適用	決算
前年度繰越		698,383	本会計へ	本会計へ	200,000
雑収入	7/11 50回利益	43,878			
	9/10 51回利益	15,609			
	10/3 52回利益	21,249			
	10/15 アジア学院出店	2,991			
	11/26 53回利益	43,900			
	2/28 54回利益	36,000			
	5/26 55回利益	33,000			
	6/12 56回利益	25,000			
利息		64			
合 計		920,074	合 計		200,000

次年度繰越金 720,074 円 2024年度収益 221,691 円
(原田さんよりの20万円は別途)

2025～2026年度 那須ワイズメンズクラブ会計予算(案)

収入の部			支出の部		
項目	24～25年度 決算	25～26年度 予算案	項目	24～25年度 決算	25～26年度 予算案
前年度繰越	19,825	25,918	東日本区会費	100,000	110,000
年会費	260,000	260,000	北東部会費	31,500	31,500
例会費	89,000	50,000	とちぎYMCA会費	30,000	30,000
献金	2,000	0	例会費	181,756	60,000
特別会計より繰入	200,000	80,000	保険代	1,215	1,215
オークション売上	0	5,000	会場費	8,000	10,000
雑収入	10,050	0	お祝金	0	10,000
定額預金利息	452	0	講師謝礼等	59,000	30,000
			リーダー研修・ユース事業	40,092	30,000
			献金	70,000	60,000
			事務・送料等	3,846	3,000
			YMCAサービス	20,000	20,000
			雑費	10,000	15,203
			交通費補助	0	10,000
合 計	581,327	420,918	合 計	555,409	420,918

次年度繰越金 0 円